

# ウイルス性肝炎について

ウイルス性肝炎はA、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。中でもB型、C型肝炎ウイルスについては、感染すると慢性の肝臓病を引き起こす原因にもなります。

我が国のウイルス性肝炎の持続感染者は、B型が110万人～140万人、C型が190万人～230万人存在すると推定されていますが、感染時期が明確ではないことや自覚症状がないことが多いため、本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多いことが問題となっています。

## 肝臓の働きとは？

### ① 代謝

必要な栄養素を体の中で使いやすい形に変える



### ② 解毒

毒物(薬やアルコールを含む)の解毒作用

### ③ 消化

コレステロールの排泄

## 肝臓病の症状

- 一般的に肝臓は余力のある臓器です。**7割くらい壊れないと自覚症状が現れません。**
- 自覚症状(黄だん、けんたい感、疲労など)が出た場合は、すでに進行しています。早期発見が必要です。

## 慢性肝炎を引き起こすウイルスの種類

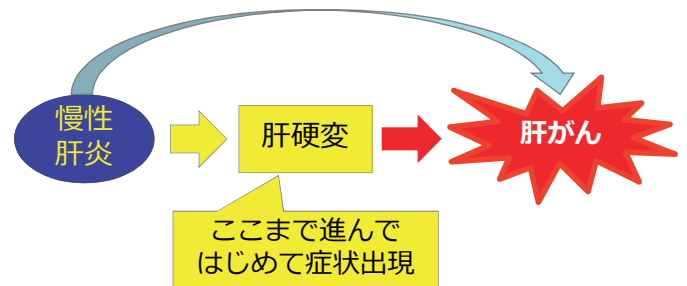
### ・B型肝炎ウイルス

主に小児期に感染すると慢性化します。最近では大人になってから**主に性交渉**で感染しても慢性化するタイプが問題視されています。推計150万人の感染者がいて、そのうち100万人は気が付いていないといわれています。

### ・C型肝炎ウイルス

慢性化しやすいウイルスです。推定150万人～200万人がC型肝炎ウイルスに感染していると推定。**肝がんの75%はC型肝炎の方**といわれています。

- 肝炎ウイルスは肝炎から肝硬変を経て、肝がんを引き起こす重大な病気です。



- しかし、早期発見ができれば多くの場合、**進展を防ぐことができます。**

## 肝炎ウイルスは職場では感染しない

- 慢性肝炎ウイルスは**血液**や**体液**を体に取り込むと感染します。
- 通常の職場であれば**職場内で感染することはありません。**
- 主な感染ルートは、性的接触(特にB型肝炎)、入れ墨、ピアスの穴開け、カミソリや歯ブラシの共用、麻薬などの注射針の回し打ち、輸血、血液製剤、医療用注射針の回し打ち。

## 肝硬変や治療の副作用による障害

- 肝硬変による疲労感が出てくることがあります。
- インターフェロンなどの治療による、抑うつ・だるさ・貧血・皮膚障害などが出てくる場合があります。
- 出てきた障害により、仕事を行う上での不都合が生じる場合には、産業医に相談が必要です。

## 健診結果で疑いがある場合は要注意

健診の結果で・・・

AST(GOT)  
ALT(GPT)

のどちらかに異常がある方は要注意！

- ☆40歳以上であれば一度は**肝炎ウイルス**の検査を受けることをお勧めします。  
(市町村指定の医療機関や保健所で無料で受けられることがあるので確認しましょう！)